

実施日	令和2年12月21日(月)
場所	体育館
対象生徒	3学年(230名)

コロナ禍のしかも師走の真っ只中、底冷えする体育館で出前講座は行われました。

対象は来春卒業予定の3年生230名(就職7割・進学3割)の生徒たちです。同校は大手企業からも人気がありその求人倍率は例年20倍を超えています。学校側との事前打ち合わせが文化祭(春工フェス)の開催日と重なったため、担当して下さった学年主任の小池雅彦先生が学内の展示物を案内してくれました。神社を模した巨大アーチやミニ機関車などを誇らしげに案内する先生と、通りすがりに礼儀正しく挨拶をしてくれる生徒たちに接してとても素晴らしい学校であることがよく分かりました。

さて出前講座の内容です。体育館壇上のスライドを中心に、30分ずつの2部構成で行われ、第

1部は村田小百合会員から「社会人としての基礎知識」と題して、「社会人基礎力」「働き方のメリット・デメリット」「給与明細からみる社会保険」の3つのテーマで話され、続いて第2部は本川知可子会員から「長く勤めるため必要なこと」と題して、「働くことの意義・ルール」「職場で心掛けること」の2つのテーマで話されました。最後に「一問一答コーナー」と題



して、事前アンケートの中から「高卒と大卒の違いは?」「仕事は楽しいか?」「上司と上手に付き合う方法は?」の3つの質問に回答して講義を結びました。

お二人とも多忙な業務の間隙を縫って資料作成や打ち合わせなどの事前準備をしっかりとられ、その成果が存分に発揮された講義でした。聞き取りやすい話し方と分かりやすい説明だけではなく、事前に調べた同校の情報を話題に盛り込んだことも好評だったようです。事後アンケート(匿名)の感想欄には全体的に両講師への感謝が綴られていましたが、その中から一部を引用します。「これから必要になることをたくさん聞いたのでとてもためになりました。かなり貴重な経験になるので色々な学校で講演をしてほしいです。」「社会保険労務士という仕事を見てみたら、私たちが働く上で一生お世話になるしサポートしてくれる人なんだと知りました。」「就職するにあたって不安しかなかったのですがスッキリしました。」「今回講演頂いた内容をしっかり復習して社会人になろうと思います。」これらの言葉は、寒さに耐えながらコートを脱ぎ、声を張って想いを届けた講師への報いになるだけでなく当事業へのエールにも聞こえます。

講座終了後、校長先生との面談を経て、先述の小池雅彦先生が「春工ツアー」と銘打って生徒の工作物などを再び案内してくれました。その熱意に改めて敬服いたします。